

## 会 議 録

会議名	平成27年度第2回富士見市歯科口腔保健推進委員会
開催日時	平成26年2月18日（木）午後1時30分～2時50分
開催場所	富士見市立健康増進センター 研修室
出席者名	委員：三木 とみ子副委員長、赤羽 尚子委員、岩橋 真澄委員、 日下部 菜穂美委員、是永 國彦委員、田中 浩委員、 長堀 厚子委員、苗代 明委員、二川 明子委員、 林 英子委員、宮 陽一委員  事務局：久米原健康増進センター所長、長谷部健康増進センター副所長、 相原健康づくり支援係主査、樋口主任
欠席者名	委員：大渡 廣信委員長
傍聴者	0名
次第	1 開会 2 副委員長あいさつ 3 審議 4 その他 5 閉会
議事内容	
1 開会	
2 副委員長あいさつ 委員長欠席のため、副委員長職務代理にて委員会を開催する旨を報告。 （富士見市歯科口腔保健推進委員会条例第5条3項に基づく） 欠席委員と本日の委員会の成立について報告。 （富士見市歯科口腔保健推進委員会条例第6条2項に基づく）	
3 審議	
（1）歯と口腔の健康に関する事業の取組状況について	
・事務局より、ライフステージ毎に本市が取り組んでいる歯と口腔の健康づくりに関する事業の取組状況について説明する。	
（2）富士見市の歯科口腔保健の推進について（意見交換）	
副委員長	議題（1）と議題（2）は重複するところがあるため、議題（1）の取組状況を踏まえ、議題（2）について審議したいと思う。

事務局	先程の報告は、平成25年度、26年度、27年度の事業ということか。
委員	平成25年度、26年度の事業実績である。平成27年度はまだ事業が終了していないため、来年度以降に報告させていただく。
事務局	親子よい歯のコンクールと8020よい歯のコンクールの表彰者は、表彰者数があらかじめ決まっているのか。
委員	その通りである。市長賞・議長賞・歯科医師会長賞の3賞となっており、応募者の中から上位3組(名)を3賞で表彰をさせていただいている。歯と口の健康フェア来場者と、高齢者については歯科医院選出により、応募された対象者を歯科医師に審議いただき、上位3組(名)に後日市役所にお越しいただき、市長・議長・歯科医師会長より表彰を行っている。
事務局	表彰数があらかじめ決まっていると、表彰から漏れる方が多いように感じたのだが…。
副委員長	高齢者に限り1度表彰された方は、再表彰しないこととしており、口腔状態のよい方については、次年度も歯と口の健康フェアや歯科医院での歯科健診を勧め、次年度も表彰の対象となるよう声を掛けさせていただいている。一覧表にまとめると凄い。生涯にわたり歯科口腔保健を推進しているのがわかる。
委員	母子手帳の交付数が1023名で、今年度新規事業として開始した妊産婦歯科健診の受診者数が114名という報告があったが、対象者のうち1割程度しか妊産婦歯科健診を受診していないということになるのか。
事務局	妊産婦歯科健診が6月からの実施なので、対象者のうち全てが受診できる期間の実施となっていないことと、昨年度の調査で調査数のうち、33.4%が既に妊娠中に健診を受けていると回答されていたことから、それ以外の健診を受ける機会のない方が受診されたのではないかと考えている。
副委員長	4か月児健康診査や12か月児健康診査などの受診率が高いが、母数をどのように考え算出しているのか。
事務局	対象者に占める受診者の割合である。
副委員長	かなりよい受診率である。
事務局	本市は県の受診率に比べると、高い受診率となっている。
副委員長	対象者は決まっているのか。
事務局	生年月日で分けており、そこで対象者を抽出している。
副委員長	健康増進センターを会場としているが、交通の便が悪いため、健診日については送迎バスを運行している。
事務局	駅毎にか。
委員	市内の各所を巡回する形で運行している。
事務局	広報でお知らせしている。
委員	4月に一覧表を広報に掲載している。
事務局	乳幼児健康診査全ての受診率が高いようだが、年齢が高くなるにつれて、受診率が低くなっているように見えるのだが。

事務局	<p>3歳児健康診査は、幼稚園通園児が対象年齢であるため、健診日に休みを取りたくないという保護者の意向がある旨を聞いている。未受診者については、健診受診などについて後日確認をさせていただいている。</p>
委員	<p>今年度から開始した妊産婦歯科健診については、個人的な意見としては半年程度の実施であるが受診者が多い印象である。歯科医院としては、小児をよく見ている歯科医院での受診が多いような傾向があるように思う。子どもの歯科健診の際に、妊娠中の母親が併せて歯科健診を申込み、受診をしているのではないかと想像する。妊産婦歯科健診の実施は、とてもよい取組だったと思う。成人歯科健診も少し受診者が増えている。妊産婦歯科健診が開始されたことが、よい影響となり受診者が増えていることも考えられるため、今後検証をしていきたい。成人歯科健診は、目標値を平成36年度に800人としているため、歯科医師会で目標値に近づけていくため、どのようにしていったらよいかを検討している。毎年受診者が増えていくよう取り組んでいきたいと思う。学齢期では、給食後の歯みがきと歯科保健指導について積極的に関わっていききたいと思う。埼玉県歯科医師会の実施している事業で、小児のう蝕予防対策事業というものがあり、私も様々なところでお話をさせていただいている。本市の給食後の歯みがきについては、平成27年度をみると少し増えているが、中学校では給食後の歯みがきや歯科保健指導について増えていかないところであるため、今後は中学校への普及啓発を行っていきたくと考えている。学校のフッ化物洗口については、時間など様々な問題がある。歯科医師会としては、歯科口腔保健の推進について、様々なことを計画しているが予算がかかるものとかからないものがあり、また検討して来年度に報告ができればと考えている。</p>
委員	<p>個人的には3歳児健康診査でフッ化物塗布事業が開始されるということで、とてもよかったと思う。フッ素はむし歯予防に大変効果的なので、健診の時に実施されることで、住民の方にはとても有益になると思う。先程委員もおっしゃっていたが、中学校の歯科保健指導に歯科衛生士が携わらせてもらえるとさらによいと思った。</p>
委員	<p>中学校では、歯みがきをする子はしているが、全員への指導は難しい。小学校で実施しているのであれば、中学校でも実施できるとよいとは思いますが、なかなか定着しないのが現状である。</p>
副委員長 事務局	<p>給食後の歯みがきは小学校全校で実施しているということか。 小学校ではその年の実情と水道の蛇口の数により、全校での実施となっていない。平成25年度では10校、平成26年度では9校の実施となっている。水道の蛇口が少ないところでも、事故予防などに配慮して、うがいに積極的に取り組んでいただいているところもあり、学校のそれぞれの実情によって取り組んでいただいている。</p>
副委員長	<p>子ども達は家庭で歯みがきの習慣づけが行われ、おそらく幼稚園でも歯みがきを実施しているところであると思う。小学校に入って実施しているところとそ</p>

委員	うでないところに分かれ、中学校では時間が取れないところが多くなっている ということで、中学校・高等学校での歯みがき習慣の継続が難しくなっている 印象を受けるが、組織的ではなくても個人でも、子ども自身に清潔観念ができて みがきたい子どもはいると思う。その辺を保健指導で補えないかと思う。 中学校でもみがいている子どもは毎日みがいている。みがいている子ども達の 歯ブラシを小学校の時のように保管できる体制が中学校ではしかれていない 実情がある。歯ブラシの衛生的な保管のことも考えると、実施が難しいように 感じるところもある。
副委員長	キャップがついている歯ブラシもあるが、清潔的な面からみてどうなのか。
委員	トラベルセットなどのように専用の容器に入っていれば大丈夫だと思う。
副委員長	様々な学校を見ていると、歯ブラシ保管庫といって紫外線によって消毒できる 保管庫で管理をしていたが、歯ブラシが落ちるため、現在では個人で管理する 流れになっていったような気がするが。
委員	小規模の学校（全校で数十名程度）では、歯ブラシ保管庫で管理しているところ もあるが、規模の大きい学校では全教室に設置することは難しい。
委員	南畑小学校では、全校保管庫管理だったか。
委員	南畑小学校は各教室に保管庫があったため保管庫で管理していたが、現在勤務 している針ヶ谷小学校では個人で管理をし、毎日持ち帰っている。
副委員長	歯ブラシの接触などによる B 型肝炎などの感染症の不安などから殺菌消毒保 管庫が設置されたが、管理がいきとどいていないと衛生的ではないため、個人 の管理が多くなったように感じる。 学校の指導の実際はどうなっているのか。
委員	積極的にとはなかなか言い難いところがあるが、歯みがきの大切さについて は、様々な教室で教育はしているが、強制的に全校でということの話はしてい ない。
副委員長	給食後の歯みがきについて、各学校で取組があるようだが、量的な問題と質的 な問題があり、今後は実際の取組の詳細を把握できると良い。
事務局	中学校では、2校の中学校で給食後歯みがきの期間を定め、キャンペーンとし て取り組んでいる学校もあり、そのような取組が広がっていくとよいと感じて いる。
副委員長	小学校は平成25年度から平成26年度にかけて1校減っているようだが。
事務局	蛇口の数やその時の学校の実情により変更があるようだが、小学校では全校全 クラスで実施している学校や、歯みがきタイムを設け、一定時間音楽を流し全 校で実施している学校、児童保健委員会で歯ブラシをくわえたままの児童がい ないか確認するパトロールを実施している学校など、学校の実情に合わせて工 夫をしながら取り組んでいただいている。
副委員長	給食後の歯みがきについて、0からのスタートという学校の実践報告を見てみ ると、手洗いができれば歯みがきもできるという報告があった。蛇口の数の問 題がある学校もあると思うが、歯みがきも蛇口の前ですっとうるのではなく、

	別の場所で行う工夫をすればできるという報告があったことをお伝えしておく。
事務局	市の職員の出前講座を広報かなにかに掲載するのか。
副委員長 事務局	はい。本市のホームページを見ていただくと、出前講座のメニューが81個あるが、「あなたの知りたい健康づくり講座」というメニューの一角に「富士見市歯科口腔保健推進計画について」という形で追加をさせていただいた。
副委員長 事務局	依頼があれば、保健師や歯科衛生士が出前で講座をしてくれるのか。
副委員長 事務局	現在の職員体制だと保健師が伺うことになると思う。主に計画と対象者の年代で大まかにどのようなことに気をつけていただきたいかという内容の講話になると思う。
副委員長 事務局	何人か単位でないと申し込みができないのか。
副委員長 事務局	市の規定で決まっており、数人の集会であれば申込が可能である。
副委員長 事務局	場所は健康増進センターなのか。ピアザ☆ふじみは使用しないのか。
副委員長 事務局	会場は要請いただいた団体に用意していただくことになっている。
委員 事務局	ピアザ☆ふじみは、歯の事業で使用しないのか。駅に近くとてもよい施設だと思うが。
委員 事務局	居住区により利便性が変わる施設であると思う。駐車場がないため、ふじみ野駅から距離がある市民にとっては利便性がよくない方もいると思う。
委員 事務局	健康増進センターの事業ではないが、本市の歯のイベントとして最も大きなイベントである歯科医師会・歯科衛生士会主催の歯と口の健康フェアを、今年度からピアザ☆ふじみで行わせていただいている。
委員 事務局	平成27年度は、歯と口の健康フェアをピアザ☆ふじみで実施した。平成26年度までは、鶴瀬駅西口のサンライトホールで実施していた。
委員 事務局	毎年6月の第1週目に実施していたが、平成27年度はピアザ☆ふじみのオープニングイベントの一環として、5月17日に実施した。時期と場所が変わり、来場者数を心配していたが、人数的には同様の来場があった。来年度もピアザ☆ふじみで実施予定である。
委員 事務局	来場者数は年によってばらつきがあり、晴天時や悪天時など天候により左右されるところがある。人数的には若干の変化はあるが、今回会場が変更になったからといって、大幅な増減がなく、来場者もリピーターが多くみられるので、会場を変えて来場者の掘り起しをすることを、今後検討していてもよいかもしれない。
副委員長 委員	幼稚園ではどのような取組をされているのか。
委員 事務局	私の立場からいうと、公立保育園は様々な取組があっという印象がある。幼稚園でも歯科保健指導を行っていただくとありがたい。
委員 事務局	出前講座のタイトルをもう少し市民が興味を持ちやすく、わかりやすいタイトルに変更した方がよいと思う。今のメニュー名だと難しく感じる。先日テレビを見ていて、口の中が健康で舌の筋肉が強く健康な人は、足腰が強いという情報があったが、意外とそういう情報を知らないで口の中の健康を大切にしない

	<p>人がいると思う。そういう方に知識を普及啓発できるような、わかりやすいタイトルになるとよいと思う。私も何度か出前講座を聞かせていただいたが、スクリーンなど持ち込んでこられて、よくやったださるので聞きたい方はいると思う。</p>
<p>委 員</p>	<p>私は前回の冊子をいただき、その中で「富士見市の市民の責務」というものが書いてあったのでそれを読んで理解した。リーフレットの中にライフステージ別に6部門あり、この部門毎の注意がもう少しわかりやすくなるとういと感じた。ライフステージの世代別に「〇〇してますか」というように、A4版くらいのチェックリストなどを作成し、インターネットなどに掲載していただくとさらにわかりやすくなるのではないかと思った。</p>
<p>副委員長</p>	<p>このライフステージは最低限こういうことに、気をつけたらよいということか。チェックリストとして普及啓発するサービスを設けたらどうかということか。</p>
<p>委 員 事務局 委 員</p>	<p>その通りである。 次回の委員会の議題とさせていただき、委員の皆様にご検討いただきたい。それはチェックリストにいくつチェックがつくと、こういう症状だというようなものをお考えか。</p>
<p>委 員</p>	<p>私は専門家ではないのでわからないが、若い方はインターネットを使われるので、そのようなチェック項目があると簡単に取り組みやすいのではないかと感じた。私のような者は、インターネットに馴染みがないが、そのような方に向けて広報にチェックリストを掲載したり、歯医者さんなどの専門家のこぼれ話を載せたりすると人目についてよいのではないかと感じた。</p>
<p>副委員長 委 員 副委員長</p>	<p>ワンポイントコメントみたいなものか。 その通りである。そのような取組だと、お金もかからずよい啓発となると思う。なるほど。今学校の教職員のメンタルヘルスについて、ストレスチェックリストというものがあるが、そのような形で簡単にチェックできるようなものということか。インターネット利用者はインターネットで、インターネットを利用しない層は配布物などで啓発するということか。</p>
<p>委 員 副委員長 委 員</p>	<p>その通りである。 他の委員はいかがか。 我々も仲間で話し合っている。今度、出前講座のメニューとして追加されたということで、活用していきたいと思う。</p>
<p>副委員長 委 員</p>	<p>他の委員はいかがか。 リーフレットが見やすくてよい。 ライフステージの取組としては、成人期への介入に保健所でも難しさを感じている。成人歯科健診なども実施しており、取組はされているところであるが、余裕があれば小規模事業所などにアウトリーチの歯科保健指導ができるとういと思う。特に国民健康保険加入者のいる事業所などに出向き、成人歯科健診などの周知から、特定健康診査の普及啓発なども行っていけるとよい。</p>

<p>副委員長 委員</p>	<p>かなり余力がないと難しいと思うが…。 他の委員はいかがか。 リーフレットを普及啓発した方がよいということで、学校では何ができるか考え、本校だけが保健だよりの中で、市で「歯っぴーライフ☆ふじみ」という計画が始まったということをお知らせしていただいた。子ども達と保護者に対してアピールできたように感じる。 また、養護部会の中でも、養護教諭に対して、市の中でこのような取組をしているということをお知らせしていただいた。この計画は各学校にいつまでか。</p>
<p>事務局 委員 事務局</p>	<p>各学校1部ずつ学校長宛に配付させていただいている。 私達もいただくとありがたい。 養護教諭の先生方にもお渡しした方がよろしければ、計画を配付させていただく。 リーフレットについても、在庫が1500部ほどあり、全学校の1学年に全てに配付することもできる。効果的に普及啓発できるのであれば教えていただければお持ちするので、よろしくお願ひしたい。</p>
<p>副委員長 事務局</p>	<p>リーフレットはただ配布するだけではなく、使い方や趣旨の説明をしながら配付しないと普及啓発効果は薄くなる。 小学校で各学校2学年ずつ 歯科衛生士による歯科保健指導を実施していると思うが、その際に子ども達に「家族でどうですか」という形で配っていただくとありがたい。ご要望があれば、お持ちするのでお声掛けいただきたい。</p>
<p>副委員長</p>	<p>みなさんからご意見をいただいたが、特にその他のご意見がなければ、この議題はこれで終了としたい。</p>
<p>委員一同 副委員長</p>	<p>(意見なし) 私達が計画の進捗状況を確認していくに辺り、歯科口腔保健に関するイベントについて案内などがあれば、私達もその事業に出向き、状況を見に行くことで、委員としての役割をさらに果たすことができると思う。いつどんなイベントがあるのか教えていただければ、可能であれば委員の責務として、状況把握ができればと思った。</p>
<p>(3) 健康ライフ☆ふじみ (富士見市健康増進計画・食育推進計画) について</p>	
<p>・事務局より、健康ライフ☆ふじみ (富士見市健康増進計画・食育推進計画) に記載されている歯と口腔の健康の分野の概要について説明する。</p>	
<p>副委員長 委員</p>	<p>本委員会とは異なる健康づくり審議会であつたものになるが、この審議会には私と苗代委員が参加している。なにかあれば、審議の経過などをお話できるので、ご意見を伺いたい。 先にできた「歯科口腔保健推進計画～歯っぴーライフ☆ふじみ～」のネーミングを参考にタイトルを検討した。 計画書の中にチェックリストの小さいものが載っていたと思うが、このチェッ</p>

	<p>クリストはチェックの多いものがお口の中の状態がよくないというものになるかと思うが、とても具体的に自分の問題として捉えることができるので、よいアイデアと思った。</p>
<p>委員 副委員長</p>	<p>こころの健康の分野に、メンタルヘルスのチェックシステムもっている。ここには「健康づくりのための睡眠指針」として具体的に12箇条も掲載されている。</p>
<p>委員</p>	<p>埼玉県歯科医師会学校歯科部では、歯肉炎予防マニュアルを小学生向けに作成している。そこにもチェックリストがあり、子ども達が自分でチェックできるようにしてあり、そのようなものを考えていけるとよいと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>例えば出前講座で、1番最初に参加者にチェックリストを実施してもらい、そこから問題提起をしていくと一気に自分の問題として講座を聴いていただくことができ素敵だと思う。</p>
<p>副委員長</p>	<p>自分を振り返るような材料は他のページにもある。「あなたの飲酒量は本当に適量ですか?」とか、自分の生活を振り返るようなものがあるとよい。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>この冊子はどうするのか。 この計画の冊子については、印刷をして、各公民館に閲覧用に配付する予定である。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>市民に配らないのか。 市民の方向けには、計画の全文をホームページに掲載する予定である。</p>
<p>副委員長 事務局</p>	<p>リーフレットは作成しないのか。 未定である。</p>
<p>委員</p>	<p>全文ではなく、今お話のあったような興味をひくような内容が、市民に届きやすいような形で、リーフレットの様な形であると思う。</p>
<p>副委員長 事務局</p>	<p>計画を策定したという周知は行うのか。 計画を策定したら、広報に掲載予定であるが、広報の誌面のレイアウトの都合上、こちらで掲載面の大きさを指定することができないので、掲載されても1ページの4分の1程度くらいになると思う。</p>
<p>委員 委員</p>	<p>広報にチェックリストを挟み配布はできないのか。 歯のことに限らず、毎回広報に健康づくりのアプローチなどが掲載されるとよいと思う。今、毎回料理のレシピが載っているので、そんな形で掲載されるとよいと思った。</p>
<p>事務局</p>	<p>広報課で誌面のレイアウトを決めているので、増進センターにページの割り振りがきたら、掲載について検討をさせていただきたいと考えるが、なかなか誌面を割り当てていただけない年もあるので、現状では何とも言えないところである。</p>
<p>委員</p>	<p>平成27年度現在ということで「1年に1回歯科健診を受けましょう」と掲載されているが、ここに掲載されている健診体制というのは、計画期間である10年間継続していけるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>最低限この部分は取り組ませていただく予定である。</p>



委員	歯科の分野の数値目標として、平成26年度の現状値から平成37年度までの目標値が掲載してあるが、ほとんど横ばいなのか。現状値より前の平成20年度などと比較して、なにか変化はないのか。
事務局	歯科口腔保健推進計画の中に詳しく掲載してあったかと思うが、むし歯のない幼児の割合というのは概ね年々増加している傾向にあるので、それをさらに増加させたい方向で目標を立てさせていただいた。むし歯のない児童生徒の割合についても、各学校の取組もあり、徐々に増加している状況である。それを実現可能な範囲で増加させていきたいという思いで目標値を設定させている。成人歯科健診は、私も把握不足であるが、大渡委員長より10年程前には1000人を超える受診者があったということも伺っている。市民の方にご理解をいただいて、現状からさらに受診していただく方が増えていくとよいと考え設定させていただいている。
副委員長	先程、県の方で歯肉炎のチェックリストを作られているというお話を伺ったが、歯科口腔保健推進計画では、むし歯についてはよく扱っているが、歯肉炎について若干扱いが少ないように感じている。生活習慣病の1つである歯肉炎を予防するということは、保健指導の入り口として効果的だし、歯肉炎は自己管理で治すことができるため、今後その部分も指導に結びつけるのなら、できてしまったむし歯は治らないが歯肉炎は治るということで、予防の観点から学校の教育としてなら指導に入り込めるのかなと感じた。そういうところも健康づくりの1つとして取り組んでいけるのかなと感想をもった。それは今後の課題となるのではないか。
委員	歯肉炎については、むし歯に比べると健診の際の判定が難しい。例えば、今日だけみがいていない、または今日だけ頑張ってみがいたなど、歯みがきの状況に左右されるところがある。データのばらつきが出るため、指標としては難しいと思う。富士見市は全小学校で歯みがき指導を行っているが、低学年ではむし歯予防を、高学年では歯肉炎予防をかなりいれている。埼玉県で「わたしの歯っぴーライフ」という30ページくらいの本を作っているのだが、富士見市では教育委員会で購入していただき毎年1年生に配付している。それを使いながら歯肉炎の予防を歯科医師と歯科衛生士で行っており、小学校についてはかなりやっていると思う。歯肉炎はデータが出にくいことはご理解いただきたい。
副委員長 委員一同	他にご意見がなければ、この議題の審議を終了としたいが、よろしいか。 (意見なし)
(4) 今後の予定について	
<ul style="list-style-type: none"> <li>事務局より、下記の通り説明する。 今年度については、本日の推進委員会をもって終了となる。来年度以降また継続して、歯っぴーライフ☆ふじみの進捗状況について、委員会の中で見ていただき、ご意見をいただければと思う。来年度については、人事異動と職員体制を考慮して、5月の中旬くらいに</li> </ul>	

1回目が開催できれば幸いである。委員長・副委員長にご相談させていただき、次回の委員会の開催を検討できればと考えている。

副委員長

そのように開催できればと考えるので、委員の方々にも日程の調整をお願いしたい。

4 その他

5 閉会